

授業評価アンケート

2023年度 後期

授業コード : 232037

授業科目名 : 韓国語II(経営・総合2020年度以降入学生用)

履修者数 : 50名

担当教員名 : 文 慶喆

回答者数 : 13名

学部 :	医療福祉	0	現代社会	0	経営法/総合政策	13	工/科学技術	0
	無回答	0						
学科専攻 :	理学療法	0	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0
	経営法/総合政策	13	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	0						
学年 :	1年	13	2年	0	3年	0	4年	0
							無回答	0

設問文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	7	5	1	0	0	4.46	4.37																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	8	5	0	0	0	4.62	4.35																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	7	6	0	0	0	4.54	4.29																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	7	4	0	0	2	4.08	3.90																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1"> <tr> <td>対面授業</td> <td>13</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>0</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>0</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>0</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>0</td> <td>無回答</td> <td>0</td> </tr> </table>							対面授業	13	遠隔(meet)	0	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	0
対面授業	13	遠隔(meet)	0	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0																
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	0																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	9	3	1	0	0	4.62	4.57																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	7	6	0	0	0	4.54	4.41																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	9	4	0	0	0	4.69	4.13																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	8	5	0	0	0	4.62	4.42																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	7	6	0	0	0	4.54	4.41																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	6	7	0	0	0	4.46	4.43																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	8	5	0	0	0	4.62	4.56																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	6	7	0	0	0	4.46	4.49																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	8	5	0	0	0	4.62	4.49																

学生へのメッセージ

今年もまだ完全終了しないコロナ禍の影響で落ち着いた環境の中での授業になりましたが、受講者の皆様は授業に集中し、また毎回出された課題にもよく取り組んでくれました。語学の勉強においては口を動かし、発話をしながらの勉強が一番有効的だと言われていますが、コロナ禍の影響で授業ではマスクを常に着用し、またコロナ感染防止の観点からも声を出しての勉強がなかなか出来なかつたのがとても残念でした。授業評価においては過分に高く評価された面もありますが、その中で足りなかった声に真剣に耳を傾け、特に授業に専念するような環境を作り、無駄のないような授業環境になるよう進化して行き、頑張りたいと思います。

